
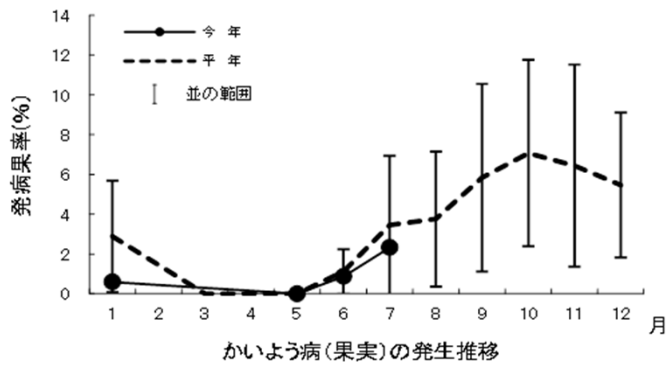


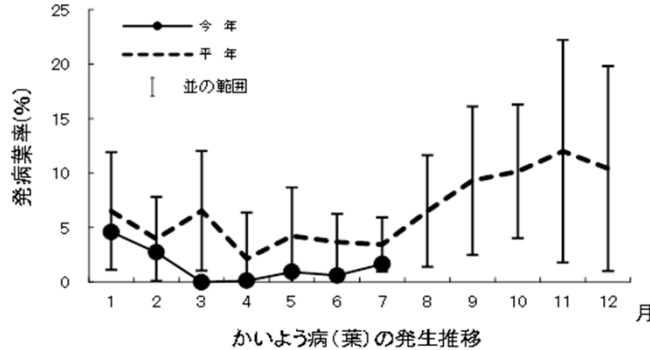
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
7月の発生量 (現況)	並		
8月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	発病果率及び発病葉率の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

(果実)



(葉)




・防除員報告：中発生（本島北部）

防除のポイント

- ・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口（風傷）は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

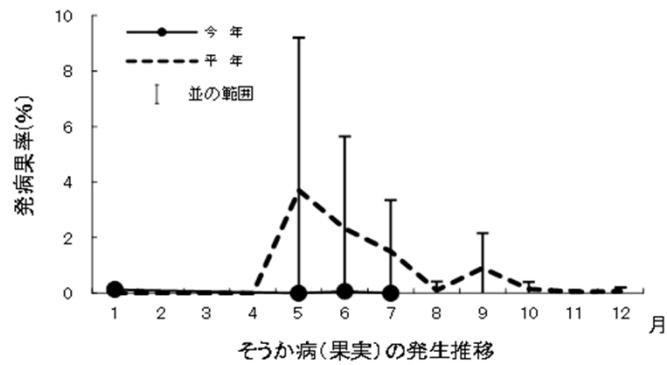


被害葉

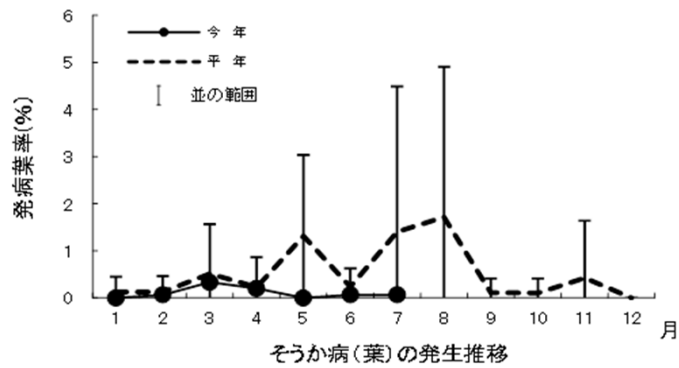
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
7月の発生量 (現況)	並		
8月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

(葉)




(果実)

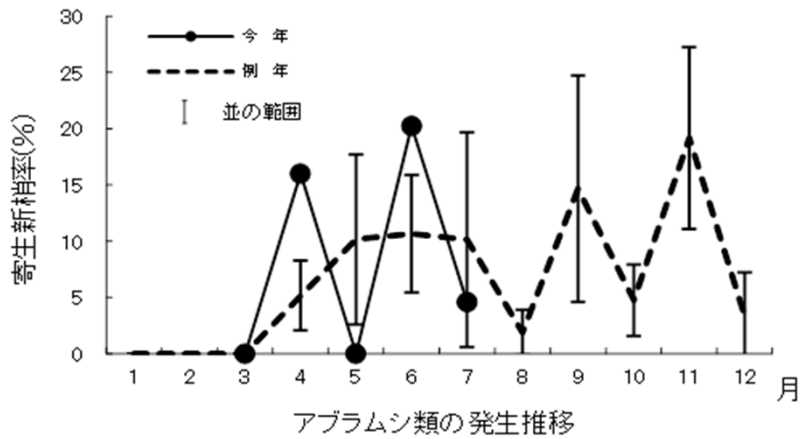


防除のポイント

- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
7月の発生量 (現況)	並		
8月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	寄生新梢率の例年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えられる。		


発生量の根拠 (調査結果)



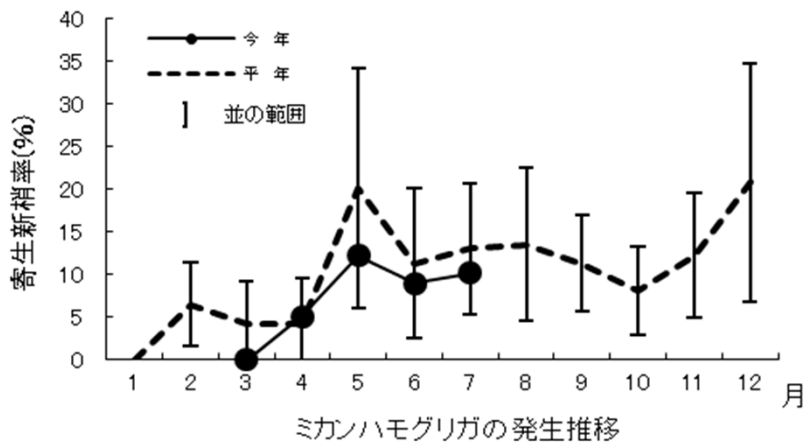
防除のポイント

- ・テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミカンハモグリガ		
7月の発生量 (現況)	並		
8月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	寄生新梢率の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。		


発生量の根拠 (調査結果)



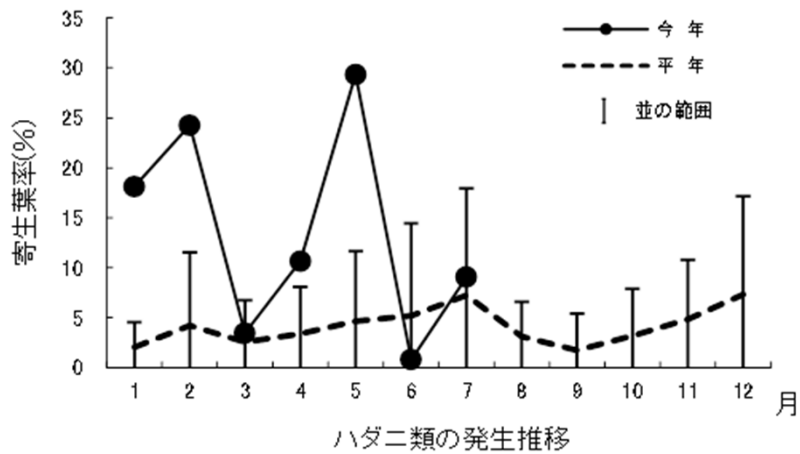
- ・ 防除員報告：中発生 (本島北部)

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすいため、除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ハダニ類		
7月の発生量 (現況)	並		
8月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	今後1か月の降水量が平年より少ない見通しから、7月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)



・防除員報告：中発生（本島北部）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状